

ペルチエ冷却霧箱 展示

仁科会館で新たに霧箱の展示を始めました！

霧箱

放射線を「飛行機雲」として観察する装置です。仁科芳雄博士は霧箱を用いて、宇宙線（宇宙から地上に降り注ぐ放射線）の研究をしていました。

放射線

顕微鏡でも見る事ができないほど小さい粒子（1mmの千億分の1以下）です。いろいろな種類があり、身の回りを飛んでいる放射線もあります。

13cm



ペルチエ素子冷却

エタノールを過冷却して「飛行機雲」を発生させるにはマイナス20℃以下に冷やす必要があります。この霧箱は、電気を流すと表面が冷却されるペルチエ素子（※1）を利用して、ドライアイスや冷凍機は必要ありません。ちなみに、仁科博士の霧箱は断熱膨張で冷却していました。

（※1）ペルチエ効果は熱輸送なので、正確には片面が冷却され逆の面が加熱されます。

仁科会館の開館日時

毎週火曜日～日曜日

午前9時～午後5時

（ただし、第3日曜日は休館）

電話・FAX 0865-64-4888